

第12回「ああ、もったいない！捨てないで！食べものを大切にしよう川柳」 入選作品決定

「買い過ぎを させぬ小さな エコバッグ」など、食べものを大切にすることを詠んだ入賞作5句、佳作10句を決定

全国17カ所で料理教室を開催する一般財団法人ベターホーム協会（東京都渋谷区）では、「食べもの大切運動」（下記）の一環として、毎年、食べものを大切にすることをテーマとした川柳の募集を行っています。12回目を迎えた今回は、全国から1,207句の応募がありました。

●入賞作（5句）

平成から令和に改元された本年。「平成の ラベルそのまま 肉凍り」など、改元をキーワードにユーモラスに詠んだ句や、小さめのエコバッグで買い過ぎを防止したり、家庭菜園の肥料に残飯を取り入れたりする工夫で、食べものを無駄にしないための知恵を取り入れた句など、様々な力作がそろいました。

※佳作10句の一覧は別紙をご覧ください。

- ・買い過ぎを させぬ小さな エコバッグ
買いものに行くときは小さめなエコバッグをチョイス（京都府/にわとりママ/女性/34才）
- ・バイキング 残した親を 子が叱る
家では子供が残すと親が叱るのにね（栃木県/乙女ちゃん/女性/66才）
- ・残飯が 肥料に変わり ナス実る
残飯を粉々にして庭の畑にまくと、立派なナスが実りました（鹿児島県/蓮心/女性/16才）
- ・平成の ラベルそのまま 肉凍り
平成のラベルがついたまま凍った肉が冷凍庫に…（長野県/あんどらごら/男性/34才）
- ・食材を 凍らせアンチエイジング
長持ちします（愛知県/さごじょう/男性/36才）

●第12回「ああ、もったいない！捨てないで！食べものを大切にしよう川柳」概要

- ・テーマ：食べものを無駄にしているなげきや怒りなどを、「食べものを大切にしよう」という思いをユーモアたっぷりの川柳にこめて表現してください。
- ・応募方法：郵便はがき、インターネット（パソコン・スマートフォン）
- ・応募期間：2019年5月31日～7月5日
- ・選考：ベターホーム協会
- ・賞品：入賞5点：「小さなまな板」&「ペティナイフ」 佳作10点：ベターホームの料理の本『元気ごはん』

●「食べもの大切運動」

ベターホーム協会では、「食べもの大切運動」として、料理教室や出版などを通して、食材を使い切る方法、上手な保存法、余った食材の有効活用術など、食べものを大切にすることを提案、普及啓発しています。

「食べもの大切運動」のシンボルマーク だいこんハート▶

●9月9日は「食べものを大切にしよう日」

「食べものを捨てない（ナイン）、残さない（ナイン）」の語呂合わせから、ベターホーム協会が制定し、2009年に日本記念日協会より認定。9月9日は重陽の節句でもあり、無病息災と長寿を祈り、収穫を祈る節句であることから、「食べものを大切にしよう、健康に」の願いを込めました。



●世界食料デーキャンペーン 2019

「ZERO HUNGER CHALLENGE FOR AFRICA 食品ロス×飢餓ゼロ」に寄付協力しています

(キャンペーン期間：2019年8月1日～10月31日)

食品ロスになりがちな食材を使った料理のレシピと写真を、ハッシュタグ「#ゼロハンガーチャレンジ」「#WFP」付きで SNS に投稿すると、1 投稿につき 120 円が寄付協力企業 12 社より国連 WFP 協会のアフリカにおける「学校給食支援」に寄付されます。「食品ロス」と「飢餓」という 2 つの食料問題への関心を促し、さらに、食品ロス削減の取り組みを通じて、飢餓ゼロへの支援に気軽に参加ができるキャンペーンです。

ベターホーム協会では、国連 WFP の支援活動の主旨に賛同し、2018 年から「学校給食支援」「母子栄養支援」の 2 つの支援活動に参画しています。

【一般財団法人ベターホーム協会】

1963 年創立。以来 55 年以上にわたり、料理教室や出版を通して、食分野での消費者教育を行っています。「ベターホームのお料理教室」は札幌から福岡まで全国 17 か所。料理と栄養の知識、食材の買い方や保存、環境のことなど、食と暮らしについて教えています。

【本件に関するお問合せは】 一般財団法人ベターホーム協会 企画広報課 小島まで
〒150-8363 渋谷区渋谷 1-15-12 Tel：03-3407-8712（直通） Fax：03-3407-0479
Mail：nanami_kojima@betterhome.jp URL:www.betterhome.jp